



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 241  
April  
2013

## トピックス

### 国際会議への参加

「第10回地域協議委員会」(RCC10)への参加及びについてモンゴル国非常事態庁(NEMA)長官との会談

### 人材育成

『JICA研修「総合防災行政」コースの実施

『JICA研修「防災意識の啓発」コースの実施

### お知らせ

アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) 事務局からのインタビュー

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2013

### ●国際会議への参加

#### 「第10回地域協議委員会」(RCC10)への参加及びについてモンゴル国非常事態庁(NEMA)長官との会談

アジア防災センター(ADRC)は、国連国際防災戦略事務所(UNISDR)、モンゴル国政府、及びアジア災害予防センター(ADPC)\*が、モンゴル国ウランバートル市において3月25日から27日まで開催した、「第10回地域協議委員会」に出席しました。同会議には、ADPCの協力国(16ヶ国)、UNISDR等国際機関、及びオーストラリア国際開発庁(AusAID)から担当者が参加し、残り2年となった兵庫行動枠組の推進における課題について議論が行われました。この結果、地域開発の目的に防災を含める「防災の主流化」について、特に地方政府レベルにおいて、制度化が遅れていること、制度化されていても実行できないことが各国に共同する主要な課題として取り上げられました。また、この間、モンゴル国政府のNEMA長官Mr. T. Dulamdorjと意見交換を行う機会があり、当方からADRCの業務への支援に対する謝意を述べる一方、NEMA長官からは、JICAと共同して実施しているウランバートル市地震防災能力向上プロジェクトや客員研究員の招へい等ADRCの事業に対する期待が述べられ、今後両者の協力関係を一層緊密化していくことで一致しました。

\* Asian Disaster Preparedness Center: アジア工科大学(タイ・バンコク市)の事業部を元に、1986年に設置された組織であり、アジア諸国における防災に関する事業を請け負っている。なお、同センターとADRCの関係については、第3回日本・メコン地域諸国首脳会議共同声明(2011年11月)において、「メコン地域諸国は、タイと日本により表明された、地位の能力を向上させるため、神戸のADRC及びバンコクのADPCとの連携を強化するとのイニシアティブを歓迎した。」とうたわれている。

### ●人材育成

#### JICA研修「総合防災行政」コースの実施

ADRCは、国際協力機構(JICA)からの委託事業として、2013年1月7日から2月22日にかけて、防災行政官を対象とした研修「総合防災行政」コースを実施しました。本年は、中国、フィジー、ハイチ、インドネシア、ミャンマー、ジャマイカ、モーリシャス、ミャンマー、フィリピン、ソロモン、オマーン、パレスチナの10ヶ国から15名が参加しました。研修員の多くは防災担当部局の政府機関で勤務する中央及び地方政府職員です。この研修は、各国からの研修員が、日本の中央及び地方レベルでの防災の取り組みを理解することにより、総合的な防災対策に基づいた自国の防災計画の作成及び向上を目的としています。

研修では、中央・地方レベルでの日本の防災システムを学ぶとともに、水害、土砂災害、地震などへの対策、学校防災教育、コミュニティ防災、マスメディアと災害、復旧・復興等について講義を受けました。また神戸市の防災福祉コミュニティの防災訓練の見学、タウンウォッチング演習の

## 続き

参加、東日本大震災被災地の視察等を行うなど多くの実習、見学にも参加しました。

研修員は日本の防災への取り組みに高い関心を示し、様々な講義、見学に対し大変熱心に参加しました。帰国後、彼らが研修で学んだ知識や手法が、自国のより良い防災体制の構築に寄与していくことが期待されます。当研修実施にあたり、訪問等を受入れいただきました各関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## JICA研修「防災意識の啓発」コースの実施

ADRCはJICAからの委託事業として、2013年1月8日から2月8日にかけて、中央・地方政府において防災意識の普及・啓発に取り組む担当者を対象とした、集団研修「防災意識の啓発」コースを実施しました。参加者は、ブラジル、チリ、コロンビア、ホンジュラス、ミャンマー、ベトナム、パプアニューギニア、フィリピン、トルコの計9か国から12名が参加しました。この研修の主たる目的は、研修を通じ、各国の事情に即した防災に関する国民の意識啓発を図るための具体的な手法を確立することです。

研修では、適宜、防災関連機関・施設での視察を交えながら、講義を実施し、地方自治体・教育機関・予報機関・メディア・NPO等の広範に亘る活動・役割について学びました。具体的には、ハザードマップ作成のために実際に町を探索する「タウンウォッチング」や「東日本大震災の被災地視察」、また、簡易なPCM手法を用いて、研修員が帰国後実施する「アクションプランの作成・発表」も行いました。そのアクションプランの実施のみならず、研修員が帰国後、研修で学んだ知識、経験、手法を様々な機会に適用し、防災意識の啓発を促進していくよう期待します。



## ●お知らせ

### アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSF）事務局からのインタビュー

APRSFの事務局より、アジア防災センターの杉浦主任研究員がインタビューを受け、これから始まるセンチネルアジアのステップ3におけるアジア防災センターの役割について話しています。（[http://www.aprsaf.org/interviews\\_features/interviews\\_2013/70.php](http://www.aprsaf.org/interviews_features/interviews_2013/70.php)）

## 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は [editor@adrc.asia](mailto:editor@adrc.asia) までEメールをお寄せください。